日本薬学会

第2回若手薬学教育者のための アドバンストワークショップ

－卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える－

報告書

平成29年6月

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

日本薬学会　第２回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
「卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える」

日本薬学会薬学教育委員会では、平成 23 年度から年に１回「学習成果基盤型教育（Outcome-Based Education）に基づいて６年制薬学教育の学習成果を考える」と題した「薬学教育者のためのアドバンストワークショップ」を開始し、全国から集まった大学教員や実務実習指導薬剤師と、学習成果基盤型教育についての情報を共有しています。また、「全国学生ワークショップ」も同様に平成 23 年度から年１回開催しており、平成 28 年には 8 月 6 日・7 日に６年次生 71 名と卒業生 22 名が参加して、プロフェッショナリズムについて議論しました。これまでの「薬学教育者のためのアドバンストワークショップ」や「全国学生ワークショップ」の成果は報告書にまとめ、関係各位にお送りすると共に、日本薬学会のホームページにて公表しています。

さて、「薬学教育者のためのアドバンストワークショップ」のテーマとして参りました学習成果基盤型教育は、薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂の基本的な考え方となり、重要性が益々高まっております。各大学が改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した教育プログラムを実施するに際し、「学習成果基盤型教育」をテーマとしたアドンバンストワークショップを継続することは有用であると考え、昨年に引き続き若手薬学教育者を対象とし、さらに 2 泊 3 日の新しいプログラムで標記ワークショップを開催することに 致しました。本ワークショップでは、「学習成果基盤型教育」に基づき、「全国学生ワークショップ」での学生・卒業生からのフィードバックを踏まえながら、6 年制薬学教育における卒業時に求められる資質・能力とその評価を参加者の皆さんと共に考える機会になりました。患者の立場を代表しての意見をはじめ、厚生労働省および文部科学省や教育学の分野の方々からの講演等を賜ることもできました。参加者からのセッション報告と、講演内容を本冊子にまとめましたので、今後の教育改善・充実に活用していただければ幸いです。

目次

主題 …… 1
まとめ …… 2
プログラム …… 4
参加者および班分け …… 7
オリエンテーション …… 9
アイスブレーキング（他己紹介）…… 13
第一部「薬学教育に求められるニーズ」…… 17
第二部「6 年制卒業時のアウトカムを考える」
　セッション１「6 年制課程の薬学教育に対して社会から求められるニーズ」 …… 21
　セッション２「OBE にしてみよう」…… 50
第三部「卒業時のアウトカムを評価する」
　セッション１「パフォーマンス評価とは？ルーブリックを作ろう！」…… 69
　セッション２「カリキュラムをデザインする」…… 96
教育講演 1　患者が期待する薬剤師像とは　COML　山口育子…… 138
教育講演 2　薬剤師養成教育に対する期待
　　～薬剤師が社会のニーズに応えるために～　厚生労働省　安川孝志 …… 144
教育講演 3　薬学教育の改善・充実に向けて　文部科学省　前島一実 …… 155
教育講演 4　深い学びを実現するアクティブラーニング
　　－学習科学の視点から－　静岡大学　益川弘如 …… 161
アンケート集計結果 …… 163
　参加者の評価 …… 163
　ワークショップ総合評価…… 186
実行委員名簿 …… 199

日本薬学会第２回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

主題：「卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える」

昨年度から、改訂モデルコカカリキュラムでの教育が始まった。本回では、これから 10 年後以降も、教育・研究に更なる活躍が期待できる世代の若手薬学教育者に、改訂モデルコカカリキュラムの基本的な考え方である学習成果基盤型教育に基づく教育を考えて頂く機会として設定したＷＳの第 2 回目である。

今回は、未来の 6 年制課程の薬学教育をにおける社会、患者からのニーズを踏まえ、「卒業時に求められる資質・能力とその評価」を考えることで、新しい薬学教育について議論する。

日本薬学会第２回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

まとめ

本アドバンストワークショップは、平成 27 年度から施行された改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムを見据えながら、主題を「卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える」として開催した。本アドバンストワークショップの実行委員会では、学習成果基盤型学習の根幹となる学習成果を、6 年制課程の薬学教育において学生が身に付けておくべき資質・能力ととらえ、そしてそれが身に付いていることをどのようにして「評価」するかがこれまで以上に重要になると考え、昨年度の主題を踏襲しつつ、10 年後 20 年後のニーズに対応できる教育について議論できるようプログラムを構成した。

本格的なセッションに先立つアイスブレイクに「チームのメンバーを知ろう」と題する他己紹介を参加者各人のマイブームを思い思いに絵にかいたものを用いて行った。一見すると四角四面でお堅く見える参加者であっても共通する趣味や心温まる意外なマイブームを有していることを参加者全員で共有し、その後の小グループ討議や全体会議での話しやすい雰囲気作りができたのではないかと思う。

第一部では、ワールドカフェ方式で「薬学教育に求められるニーズ」について、3 つのテーマを設定し自由に話し合った。カフェ形式のカジュアルな雰囲気に包まれ、薬学教育の情報交換をしていく中で、自分の所属する大学や施設の長所や課題を再認識するとともに、薬学教育の新しい取り組みへのインスピレーションに期待した。

第二部「6 年制課程卒業時のアウトカムを考える」のセッション１では、参加者にもなじみの深い KJ 法を用いて 10 年後 20 年後の社会のニーズを満たすような日本一の大学を考えよるために、様々な意見や問題点が出され、それらを抽出し整理し、日本一の 6 年制課程を考えた。セッション２では、それら社会のニーズを満たすために、卒業時有しておくべき能力・資質を学習成果基盤型学習における卒業時に備えているパフォーマンスの表現で、アウトカムおよび学習目標を考えた。改訂コアカリに対応した教育が既に始まってい

るが、いざ卒業時、さらにその先の未来を考えると、様々な課題が出て来ていることが予想される。参加者間で社会、患者からのニーズや起こり得る問題点を共有してその相互関係をしっかりと整理することができ、求められるべき日本一の 6 年制課程やそこでの学習で求められる学習の目標を考えることができたと思う。

第三部では、先に立てたアウトカムや学習目標への到達度を測定する評価について考えた。セッション１では、責任ある主観で到達度を測定するために学習目標に対して求められるパフォーマンスを文章化することで、評価基準を明記したルーブリックを作成した。セッション２では、求められるパフォーマンスを達成できるカリキュラムをデザインすることを考えた。学習目標に到達するために、学年進行に従ってまたは卒業時に必要な評価法、学習方略などを考え、プロダクトにまとめた。

第四部では、薬学教育の充実に向けて行動計画について総合討論がなされた。各グループで、10 年後の薬学教育の充実に向けての課題と解決方法を考え、そしてそのためにすべきことを行動計画としてまとめ、今後の薬学教育の充実に向けて参加者全員で討論した。

参加者に対して医療系教育、薬学教育の最新情報や患者の立場からの情報を提供するとともにプロダクトの作成を支援するため、４つの教育講演を企画した。大変ご多忙の中、教育講演を担当していただいた演者の方々に、この場を借りて深く感謝する。

第二部からで各班が作成したプロダクトの抜粋を以下に記載するので参考にしていただければ幸いである。なお、ここに掲載する学習目標や評価法、ルーブリック、学習方略はあくまで本アドバンストワークショップのプロダクトの例として示したものであり、模範的事例として掲載しているわけではないことを申し添える。各セッションにおける討議の経緯やプロダクトの詳細については、班別報告の頁をご覧いただきたい。

日本薬学会第２回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

「卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える」

主　催　　：公益社団法人　日本薬学会
開催日時　：平成 28 年 12 月 25 日（日）13：00(12:30 より受付）～　27 日（火）13：00
開催場所　：クロス・ウェーブ府中（〒183-0044　東京都府中市日鋼町 1-40　TEL 042-340-4800）
参加者　　：40 歳代大学教員 70 名、日本薬剤師会 9 名、日本病院薬剤師会 9 名
　　3P9S（1 グループ 9～10 名）
会　場　　：3 階フロア
　全体会議：302 大研修室
　Ⅰチーム　チーム会議：301 大研修室、ⅠA：311 小研修室、ⅠB：312 小研修室、
　　ⅠC：313 小研修室
　Ⅱチーム　チーム会議：302 大研修室、ⅡA：321 小研修室、ⅡB：322 小研修室、
　　ⅡC：323 小研修室
　Ⅲチーム　チーム会議：304 大研修室、ⅢA：315 小研修室、ⅢB：314 小研修室、
　　ⅢC：324 小研修室
　タスクフォース控室：ビジネスルーム

プログラム

第 1 日目：12 月 25 日（日）

12：30　　受付（3 階）
12：55　3P　全体会議会場　集合
13：00　3P　開会挨拶　薬学会　太田会頭、文部科学省　前島専門官、厚生労働省　安川補佐
　　開会式・オリエンテーション　30 分
アイスブレーク「チームのメンバーを知ろう」
13：30　P　作業説明①　マイブームを絵にかいてみよう。　5 分
13：35　P　作業説明②　他己紹介　35 分

第一部「薬学教育に求められるニーズ」
14：10　P　作業説明（world café ）　15 分
14：25　P　テーマ１
　「あなたは自分の大学の学生にどのような能力が身についたと思いますか」　25 分
14：50　P　テーマ２
　「あなたが素晴らしいと思っているカリキュラムを具体的に紹介してください」　25 分
15：15　P　テーマ３
　「あなたは学生にどのような能力を修得させて大学を卒業させたいですか」　20 分
15：40　3P **教育講演1　「患者が期待する薬剤師像とは」**

NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長　山口育子先生　60 分

16：40　休憩

第二部　「6 年制課程卒業時のアウトカムを考える」

セッション１　6 年制課程の薬学教育に対して社会から求められるニーズ

16：50 3P　作業説明　KJ 法、日本一の大学を考えよう　20 分

17：10 S　　SGD　60 分

18：10　チェックイン　食事

19：15　SGD　「日本一の 6 年制課程を考えよう」　80 分

20：35 P 発表　5 分×3 グループ、総合討論 10 分　30 分

21：05 P 1 日目のアンケート

10 分

2 日目：12 月 26 日（月）

8：30　3P　　第一日目のアンケート発表　10 分

8：40　3P セッション２　「OBE にしてみよう」

「卒業時に到達すべきパフォーマンスとして記述する」

作業説明　20 分

9：00　S　SGD　90 分

10：30　コーヒーブレーク　15 分

10：45 P　発表（5 分）＋質疑（5 分）×3 班　30 分

11：15　3P　**教育講演 2「薬剤師養成教育に対する期待」**

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 安川孝志　課長補佐　40 分

12：00　写真撮影　食事

第三部「卒業時のアウトカムを評価する」

13：00 3P　セッション１「パフォーマンス評価とは　ルーブリックを作ろう」

作業説明　20 分

13：20　S　SGD　120 分

15：20 コーヒーブレーク　15 分

15：35 P　発表（パワポ）5 分・質疑 5 分×3 班　30 分

16：05 3P セッション２「カリキュラムをデザインする」

作業説明　15 分

16：20　S　SGD　110 分

18：10　P　発表 3 分・質疑 3 分×3 班　20 分

18：35 3P **教育講演 3「薬学教育の改善･充実に向けて」**

文部科学省高等教育局医学教育課　　前島一実 薬学教育専門官　40 分

19：10 3P 2 日目のアンケート　5 分

19：15 情報交換会

3 日目：12 月 27 日（火）

8：15	3P 二日目のアンケート発表	10 分
8：25	3P **教育講演4 「深い学びを実現するアクティブラーニング−学習科学の視点から−」**	
	静岡大学大学院教育学研究科 益川弘如先生	50 分
第四部「総合討論」 薬学教育の充実に向けて行動計画		
9：30	3P 作業説明	1 分
	S 10 年後の薬学教育の充実に向けての課題と解決方法	90 分
11：00	コーヒーブレーク	15 分
11：15	3P 発表 3 分×9 班	30 分
	総合討論	30 分
12：15	3P 講評	10 分
12：25	3P 3 日目アンケート、総合評価アンケート	10 分
12：35	3P 閉会のあいさつ	10 分
12：45	昼食 解散	

ワークショップ参加者および班分け

Ⅰチーム

チーフタスクフォース：小佐野博史

A班	
内倉　健	日本病院薬剤師会
大磯　茂	長崎国際大学
木村　美紀	東邦大学
黒田　幸弘	武庫川女子大学
児玉　頼光	広島国際大学
新田　朋弘	日本薬剤師会
松尾　淳一	金沢大学
松永　和久	福岡大学
三浦　剛	城西国際大学

タスクフォース：入江徹美

B班	
大岡　嘉治	徳島文理大学香川
小幡　由紀	金城学院大学
小原　拓	日本病院薬剤師会
角山　圭一	姫路獨協大学
鈴木　豊史	日本大学
富田　隆	岩手医科大学
中川　宏治	北海道大学
成重　賢司	日本薬剤師会
濱島　義隆	静岡県立大学
松元　一明	慶應義塾大学

タスクフォース：中村明弘、田村　豊

C班	
岩岡　恵実子	兵庫医療大学
大倉　康	日本薬剤師会
大脇　裕一	第一薬科大学
小川　竜一	明治薬科大学
梶原　康宏	横浜薬科大学
加藤　さおり	日本病院薬剤師会
熊本　卓哉	武蔵野大学
多賀　淳	近畿大学
田島　裕久	いわき明星大学
田中　保	徳島大学

タスクフォース：河野武幸、塩田澄子

ディレクター	
赤池　昭紀	薬学教育委員長

実行委員長	
川崎　郁勇	武庫川女子大学

事務局	
土肥　三央子	日本薬学会

Ⅱチーム

チーフタスクフォース：亀井美和子

A班	
安楽　誠	崇城大学
石橋　健一	東京薬科大学
大松　秀明	日本病院薬剤師会
川原　浩一	新潟薬科大学
小松　真紀子	日本薬剤師会
舘　知也	岐阜薬科大学
土井　信幸	高崎健康福祉大学
中島　勝幸	徳島文理大学
根木　滋	同志社女子大学
樋口　ゆり子	京都大学

タスクフォース：高橋　寛

B班	
赤嶺　由美子	日本病院薬剤師会
磯田　勝広	帝京平成大学
小林　大介	九州大学
仁木　一順	大阪大学
日置　和人	神戸学院大学
福井　貴史	千葉科学大学
見留　英路	松山大学
村田　富保	名城大学
山下　美妃	北海道薬科大学
吉田　力久	日本薬剤師会

タスクフォース：木内祐二

C班	
青山　峰芳	名古屋市立大学
井之上　浩一	立命館大学
坂田　健	星薬科大学
島田　憲一	就実大学
田極　淳一	日本薬剤師会
辻本　雅之	京都薬科大学
松本　洋太郎	東北大学
真野　泰成	東京理科大学
宗像　達夫	国際医療福祉大学
屋地　慶子	日本病院薬剤師会

タスクフォース：賀川義之、安原智久

講師	
山口　育子	ささえあい医療人権センター
安川　孝志	厚生労働省
前島　一実	文部科学省
益川　弘如	静岡大学

オブザーバー	
太田　茂	会頭
亀井　大輔	文部科学省

Ⅲチーム

チーフタスクフォース：徳山尚吾

A班	
大越　絵実加	青森大学
輿水　淳	日本薬剤師会
佐能　正剛	広島大学
座間味　義人	日本病院薬剤師会
関　貴弘	熊本大学
堤　智斉	鈴鹿医療科学大学
広瀬　雅一	福山大学
森田　延嘉	昭和薬科大学
山岸　伸行	摂南大学

タスクフォース：鈴木　匡

B班	
加藤　敦	富山大学
向後　麻里	昭和大学
坂本　謙司	北里大学
柴山　良彦	北海道医療大学
武井　佳史	愛知学院大学
土田　和徳	日本薬科大学
東郷　和彦	日本薬剤師会
中川　俊作	日本病院薬剤師会
藤森　功	大阪薬科大学
麓　伸太郎	長崎大学

タスクフォース：大野尚仁、長谷川洋一

C班	
井上　剛	岡山大学
黄倉　崇	帝京大学
大栁　賀津夫	北陸大学
菅原　栄紀	東北薬科大学
鈴木　貴明	日本病院薬剤師会
田村　雅史	城西大学
椿　達也	日本薬剤師会
長井　克仁	大阪大谷大学
中川　公恵	神戸薬科大学
武藤　純平	九州保健福祉大学

タスクフォース：大津史子

タスクフォース	
入江　徹美	熊本大学
大津　史子	名城大学
大野　尚仁	東京薬科大学
賀川　義之	静岡県立大学
亀井　美和子	日本大学
川崎　郁勇	武庫川女子大学
木内　祐二	昭和大学
河野　武幸	摂南大学
小佐野　博史	帝京大学
塩田　澄子	就実大学
鈴木　匡	名古屋市立大学
高橋　寛	岩手医科大学
田村　豊	福山大学
徳山　尚吾	神戸学院大学
中村　明弘	昭和大学
長谷川　洋一	名城大学
安原　智久	摂南大学

日本薬学会
第2回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

「卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える」

平成28年12月25日（日）～27日（火）
クロス・ウェーブ府中

実行委員長
武庫川女子大学　川崎郁勇

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

オリエンテーション

お願い（ワークショップのルール）

本ワークショップの位置づけと経緯

本ワークショップの概要

報告書作成のお願い

- **動きやすい服装で**
- **携帯電話はマナーモードで**
- **スマホやタブレット端末は原則使用しないで**
- **先生ではなく「さん」で**
- **時間厳守で**

お願いします

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

オリエンテーション

お願い（ワークショップのルール）

本ワークショップの位置づけと経緯

本ワークショップの概要

報告書作成のお願い

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

日本薬学会　薬学教育委員会

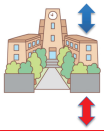
平成28年度事業

◇ 文部科学省委託事業
◇ 医療人生涯研鑽活動への支援
◇「医療人養成としての薬学教育に関するワークショップ」の企画・開催
◇「若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ」および「全国学生ワークショップ」の企画・開催

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

全国レベルで開催されているワークショップ

薬学教育者ワークショップ（認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ）
主催：日本薬学会　→　薬学教育協議会
参加者：病院・薬局薬剤師、大学教員



薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
主催：日本薬学会
参加者：大学教員、病院・薬局薬剤師

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

第1回から第4回では、

学習成果基盤型教育（Outcome-Based Education）
に基づいて6年制薬学教育の学習成果を考える
FDを企画・運営できる人材の育成

第1回薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
2011年12月26日（月）～12月28日（水）
第2回薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
2012年11月23日（金）～25日（日）
第3回薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
2013年10月12日（土）～10月14日（月）
第4回薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
2014年11月22日（土）～11月24日（月）

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

第5回薬学教育者のためのアドバンストワークショップは、

第1回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

・改訂モデルコアカリキュラムによる教育がスタート
・「薬剤師として求められる10の資質」
・FDの開催

卒業時に求められる資質とその評価を考える

2015年10月11日（日）～10月12日（月・祝）

第2回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ

卒業時に求められる資質・能力とその評価を考える

2016年12月25日（日）～12月27日（火）

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ （薬学教育者ワークショップ）

全国薬科大学・薬学部のほとんどの教員が参加
実務実習指導薬剤師が参加

「カリキュラム（目標・方略・評価）の立案方法を学び、薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムの実践に活用」

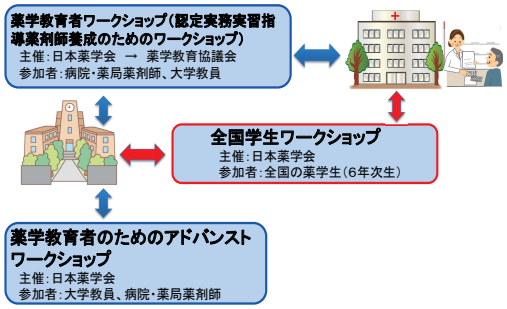
公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

認定実務実習指導薬剤師養成のための ワークショップ （薬学教育者ワークショップ）

全国薬科大学・薬学部のほとんどの教員が参加
実務実習指導薬剤師が参加
平成28年度より、
「学習成果基盤型教育（Outcome-Based Education）に基づくカリキュラムの立案方法を学び、改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムの実践に活用」に内容を見直して開催

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

全国レベルで開催されているワークショップ



公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

第1回　全国学生ワークショップ
「6年制一期生として薬学教育に望むこと」
2011年8月4日(木)　大阪大学中之島センター

第2回　全国学生ワークショップ
「6年制薬学教育に望むこと、卒業後に取り組んでいきたいこと」
2012年8月7日(火)～8日(水)　クロス・ウェーブ府中

第3回　全国学生ワークショップ
「医療への貢献、社会への貢献：これから薬剤師としてどのように行動するか」
2013年8月10日(土)～11日(日)　クロス・ウェーブ府中

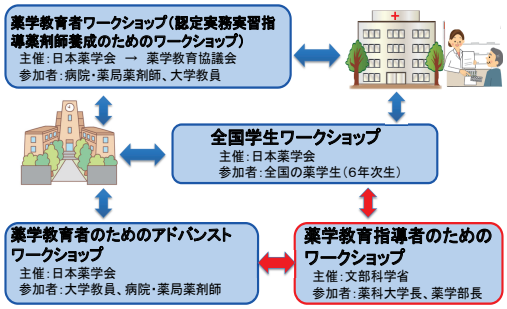
第4回　全国学生ワークショップ
「私たちが築く新しい医療と社会：将来への思いを共有しよう」
2014年8月9日(土)～10日(日)　クロス・ウェーブ府中

第5回　全国学生ワークショップ
「私たちのプロフェッショナリズム：私たちが築く新しい医療と社会」
2015年8月8日(土)～9日(日)　クロス・ウェーブ府中

第6回　全国学生ワークショップ
「社会が私たちに求めているものは何か？
～未来を支える薬剤師としてのプロフェッショナリズムを考える～」
2016年8月6日(土)～7日(日)　クロス・ウェーブ梅田

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

全国レベルで開催されているワークショップ



公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

オリエンテーション

お願い（ワークショップのルール）

タスクフォース自己紹介

本ワークショップの位置づけと経緯

本ワークショップの概要

報告書作成のお願い

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

昨年度から、改訂モデルコカカリキュラムでの教育が始まりました。
　これから10年後以降も、教育・研究に更なる活躍が期待できる世代の皆様に、教育を考えて頂く機会として設定したＷＳの第2回目です。
　今回は、「卒業時に求められる資質・能力とその評価」を考えてみましょう。
　皆さんと作る新しい薬学教育の始まりです。

情 報 交 換

2日目夜

情報交換会
（3階ゲストルーム）

1日目、2日目夜　フリーディスカッション
1,000円／1人

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

ご自身のチーム、グループをご確認ください

A班

Ⅰチーム		Ⅱチーム		Ⅲチーム	
内倉 健	日本病院薬剤師会	安楽 誠	崇城大学	大越 絵実加	青森大学
大磯 茂	長崎国際大学	石橋 健一	東京薬科大学	輿水 淳	日本薬剤師会
木村 美紀	東邦大学	大松 秀明	日本病院薬剤師会	佐能 正剛	広島大学
黒田 幸弘	武庫川女子大学	川原 浩一	新潟薬科大学	座間味 義人	日本病院薬剤師会
児玉 頼光	広島国際大学	小松 真紀子	日本薬剤師会	関 貴弘	熊本大学
新田 朋弘	日本薬剤師会	舘 知也	岐阜薬科大学	堤 智斉	鈴鹿医療科学大学
松尾 淳一	金沢大学	土井 信幸	高崎健康福祉大学	広瀬 雅一	福山大学
松永 和久	福岡大学	中島 勝幸	徳島文理大学	森田 延嘉	昭和薬科大学
三浦 剛	城西国際大学	根木 滋	同志社女子大学	山岸 伸行	摂南大学
		樋口 ゆり子	京都大学		

B班

Ⅰチーム		Ⅱチーム		Ⅲチーム	
大岡 嘉治	徳島文理大学香川	赤嶺 由美子	日本病院薬剤師会	加藤 敦	富山大学
小幡 由紀	金城学院大学	磯田 勝広	帝京平成大学	向後 麻里	昭和大学
小原 拓	日本病院薬剤師会	小林 大介	九州大学	坂本 謙司	北里大学
角山 圭一	姫路獨協大学	仁木 一順	大阪大学	柴山 良彦	北海道医療大学
鈴木 豊史	日本大学	日置 和人	神戸学院大学	武井 佳史	愛知学院大学
富田 隆	岩手医科大学	福井 貴史	千葉科学大学	土田 和徳	日本薬科大学
中川 宏治	北海道大学	見留 英路	松山大学	東郷 和彦	日本薬剤師会
成重 賢司	日本薬剤師会	村田 富保	名城大学	中川 俊作	日本病院薬剤師会
濱島 義隆	静岡県立大学	山下 美妃	北海道薬科大学	藤森 功	大阪薬科大学
松元 一明	慶應義塾大学	吉田 力久	日本薬剤師会	麓 伸太郎	長崎大学

C班

Ⅰチーム		Ⅱチーム		Ⅲチーム	
岩岡 恵実子	兵庫医療大学	青山 峰芳	名古屋市立大学	井上 剛	岡山大学
大倉 康	日本薬剤師会	井之上 浩一	立命館大学	黄倉 崇	帝京大学
大脇 裕一	第一薬科大学	坂田 健	星薬科大学	大栁 賀津夫	北陸大学
小川 竜一	明治薬科大学	島田 憲一	就実大学	菅原 栄紀	東北薬科大学
梶原 康宏	横浜薬科大学	田極 淳一	日本薬剤師会	鈴木 貴明	日本病院薬剤師会
加藤 さおり	日本病院薬剤師会	辻本 雅之	京都薬科大学	田村 雅史	城西大学
熊本 卓哉	武蔵野大学	松本 洋太郎	東北大学	椿 達也	日本薬剤師会
多賀 淳	近畿大学	真野 泰成	東京理科大学	長井 克仁	大阪大谷大学
田島 裕久	いわき明星大学	宗像 達夫	国際医療福祉大学	中川 公恵	神戸薬科大学
田中 保	徳島大学	屋地 慶子	日本病院薬剤師会	武藤 純平	九州保健福祉大学

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

第一部～第四部

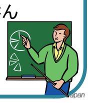
1日目　薬学教育に求められるニーズ
　　　　6年制課程卒業時のアウトカムを考える

2日目　卒業時のアウトカムを評価する

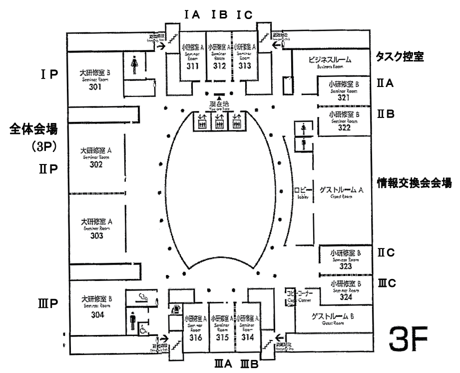
3日目　薬学教育の充実に向けて行動計画

講演1～4

1日目　NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 山口育子さん
2日目　厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 安川孝志さん
　　　　文部科学省高等教育局医学教育課 前島一実さん
3日目「深い学びを実現するアクティブラーニング
　　　　-学習科学の視点から-」
　　　　静岡大学大学院教育学研究科 益川弘如さん



第2回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ会場図



オリエンテーション

お願い（ワークショップのルール）

タスクフォース自己紹介

本ワークショップの位置づけと経緯

本ワークショップの概要

報告書作成のお願い

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

報告書作成のお願い

・本ワークショップの内容成果は、冊子にまとめ、関係者への送付とともに、日本薬学会ホームページで公表する予定です。
・各セッションのプロダクトだけでなく、グループ内での議論の経緯も必ず書き入れて報告書にまとめてください。
・グループ内で相談して、第2部～第4部の報告書担当者を決めてください。
・報告書は、Microsoft Wordを使用して作成してください。

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

提出締切日： 平成29年1月31日（火）17時まで

提　出　先： 日本薬学会総務課　薬学教育担当
E-mail ： kyoiku@pharm.or.jp

メールの件名： 第2回若手薬学教育者アドバンストWS報告書

ファイル名：「ＩA班第一部報告書」のように班名とセッションを書いて下さい。

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

タスクフォース名簿

入江　徹美	熊本大学
大津　史子	名城大学
大野　尚仁	東京薬科大学
賀川　義之	静岡県立大学
亀井　美和子	日本大学
川崎　郁勇	武庫川女子大学
木内　祐二	昭和大学
河野　武幸	摂南大学
小佐野博史	帝京大学
塩田　澄子	就実大学
鈴木　匡	名古屋市立大学
高橋　寛	岩手医科大学
田村　豊	福山大学
徳山　尚吾	神戸学院大学
中村　明弘	昭和大学
長谷川洋一	名城大学
安原　智久	摂南大学

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

ようこそ！

日本薬学会
第２回若手薬学教育者のための
アドバンストワークショップ

「卒業時に求められる資質・能力と
その評価を考える」

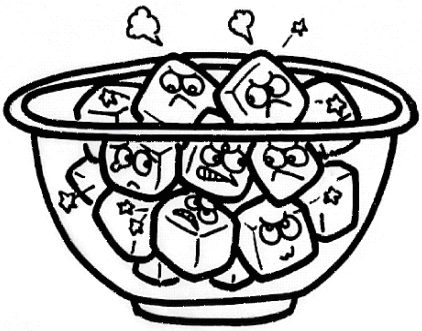
平成２８年１２月２５日～２７日
クロス・ウェーブ府中

年末！もうすぐ新年！

ご多忙の中、全国からお集まり
いただきまして、

ありがとうございます。m(_)m

3日間を一緒に楽しく過ごしませんか？



Ice Breaking

絵を描く！

マイブーム(今夢中になっていること)を絵に描いてみましょう！

- A4用紙にマジックで直接書いて下さい
- 絵を描く時間：5分

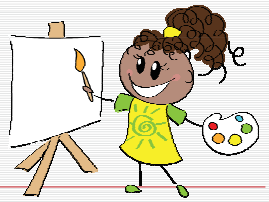
歴史に残る名絵は
期待していません。

できるだけ場面を
描いてみましょう。

字は書かないで結構です。

下の端にニックネームか
イニシャルを書いて下さい

マイブームを絵に描いてみましょう



チームメンバーを知ろう！

あーりん　かなこぉ　しおりん

カラー	名前	生年月日	備考
レッド	百田夏菜子 ももた かなこ	1994年7月12日 (21歳)	リーダー
イエロー	玉井詩織 たまい しおり	1995年6月4日 (20歳)	通称:しおりん
ピンク	佐々木彩夏 ささき あやか	1996年6月11日 (19歳)	通称:あーりん
グリーン	有安杏果 ありやす ももか	1995年3月15日 (20歳)	EXPG出身
パープル	高城れに たかぎ れに	1993年6月21日 (22歳)	元リーダー

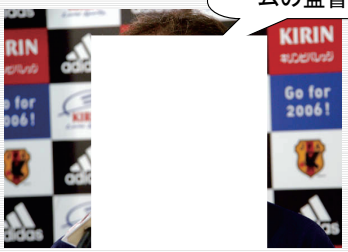
チームメンバーを知ろう！

中田 翔 広島県
ベストナイン 一塁手部門(2015~16)

大谷 翔平 岩手県
ベストナイン 投手部門(2015~16)
ベストナイン 指名打者部門(2016)

自己紹介
じーこしょうかい

私、ジーコ！
元サッカーチーム の監督



他己紹介
タコしょうかい

イカにしてやるか

1. 隣の人とペアになりましょう

情報提供（1回目）

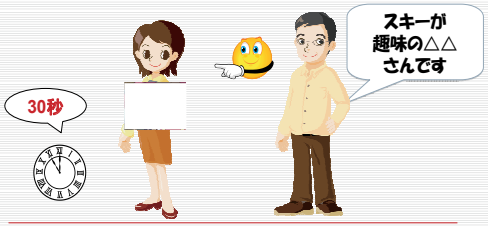
2. まず1番目の人が、相手に絵を使って自己紹介してください

情報提供（2回目）

3. 次に2番目の人が、相手に絵を使って自己紹介してください

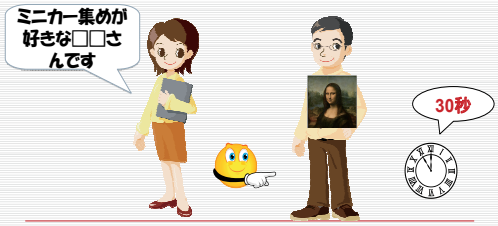
他己紹介本番

4. 30秒ずつで、会場の皆さんに他己紹介



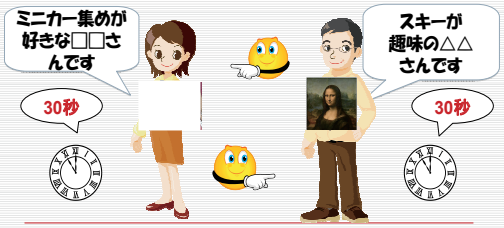
他己紹介本番

4. 30秒ずつで、会場の皆さんに他己紹介



他己紹介本番

4. 30秒ずつで、会場の皆さんに他己紹介



第一部

World Café

薬学教育に求められるニーズ

日本薬学会
第2回若手薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
2016年12月25日～27日

World Café とは？

World Café はグループワークの一つのやり方です。これから皆さんは、世界を旅する「旅人」になります。

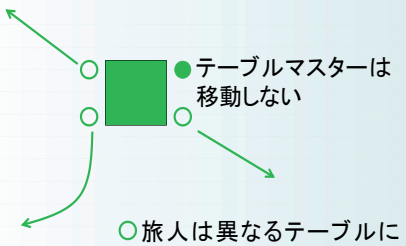
旅人は、出会った場所で“おしゃべり” や “落書き”をして、また別の場所に旅立っていきます。

今日は、旅をしながら3回のおしゃべりや落書きをしましょう。

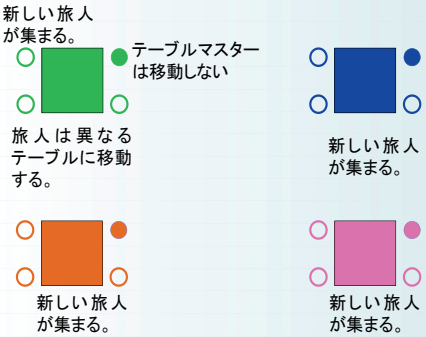
World Café の方法

- 4～5名のグループで「おしゃべり（ラウンド）」を行いますが、テーマごとにメンバーを入れ替えます。
- テーブル毎に「テーブルマスター」を決めます。テーブルマスターは固定で、司会をします。
- 1回のラウンドは20分～30分で行います。ラウンドが終わると、旅人は別のテーブルに移動します。このとき、なるべく前のラウンドと違う旅人同士が集まるように移動しましょう。

旅人の移動



旅人の移動



テーブルマスターのお仕事

1. 各テーブルにおける「おしゃべり」が盛り上がるように工夫してください。
2. 第1ラウンドでは、指定されたテーマでの「おしゃべり」の司会をお願いします。
3. 第2ラウンド以降は、旅人の「自己紹介」の前に、テーブルマスターから「第1ラウンド」で印象に残ったお話しを1分で紹介して下さい。その後、そのラウンドのテーマの「おしゃべり」の司会をして下さい。
4. 旅人は「おしゃべり」に夢中になる傾向があります。旅人に「落書き（気付きや感想）」をするように促して下さい。
5. 第1部の報告書（概要と感想 A4 1 枚）を担当して下さい。

模造紙の提出はありません。（旅人の落書き帳です！）

落書きはたくさんあるほど楽しいです！

World Café では

- ●たくさんの旅人と知り合いになれます。
- ●ということは、いろいろな人の話が聞けます。
- ●いろいろなお話し（他花受粉）によって、新しい発想が生まれます。
- ●でも、「声の大きい人」の旅の軌跡が分かってしまいます。
- ●テーブルマスターは、ちょっと大変なので、旅人は「利他的」な行動をお願いします。
- ●自由討論での発言は、一人 1分以内でお願いします。

World Café のスケジュール

移動
14:25 ～ 14:45　第 1 ラウンド（20分間）

移動
14:50 ～ 15:10　第 2 ラウンド（20分間）

移動
15:15 ～ 15:35　第 3 ラウンド（20分間）

第 1 ラウンドのグループ編成

- ●今からPのメンバーでグループを6つ作ります。
- ●P会場をCaféに模様替えしつつ、グループを作ります。少しだけお手伝い下さい。
- ●時間の都合上、テーブルマスターはこちらで指名させていただきます。
- ●旅人になった方は、各テーブルに移動して下さい。今回はテーブルの定員は5名です。

テーブルの位置とテーブルマスター

Ｉチーム　各班名簿の1番目と6番目の方

1 内倉　健 さん	2 新田　朋弘 さん	3 大岡　嘉治 さん
4 富田　隆 さん	5 岩岡　恵実子 さん	6 加藤　さおり さん

Welcome to

World Café Pharmacy

第1ラウンド

第1ラウンドのメニュー

14:05 ～ 14:25 （20分間）

テーマ:
「あなたは、自分の大学の学生にどのような能力が身についたと思いますか」

- 自己紹介を兼ねて「自分の大学の学生に身についた能力、実務実習で担当した学生に身についた能力など」を紹介して下さい（1分程度）。
- 全員の紹介が終わったら、自由におしゃべりして下さい。
（おしゃべりしながら、模造紙への落書きもお願いします。）

移動です

- ●旅人は、旅に出て別のテーブルに移動して下さい。
- ●第1ラウンドのメンバーと同じにならないように！
- ●各テーブルの定員は5名です。
- ●テーブルマスターは人数を調整して下さい。

Welcome to

World Café Pharmacy

第2ラウンド

第2ラウンドのメニュー

14:30 ～ 14:50 （20分間）

テーマ:
「あなたが素晴らしいと思っているカリキュラムを具体的に紹介してください」

- 第1ラウンドの話題をテーブルマスターから聞いて下さい。
- 自己紹介を兼ねて「前のラウンドで印象に残ったこと」を紹介して下さい（1分程度）。
- 全員の紹介が終わったら、このテーマについておしゃべりして下さい。実務実習や、見聞きしたカリキュラムの紹介もOKです。
（おしゃべりしながら、模造紙への落書きもお願いします。）

移動です

- ●旅人は、旅に出て別のテーブルに移動して下さい。
- ●第1、第2ラウンドのメンバーと同じにならないように！
- ●各テーブルの定員は5名です。
- ●テーブルマスターは人数を調整して下さい。

Welcome to

World Café Pharmacy

第3ラウンド

第3ラウンドのメニュー

14:55 ～ 15:25 （30分間）

テーマ:

「あなたは、学生にどのような能力を修得させて大学を卒業させたいですか？」

- 第2ラウンドの話題をテーブルマスターから聞いて下さい。
- 自己紹介を兼ねて「前のラウンドで印象に残ったこと」を紹介して下さい（1分程度）。
- 全員の紹介が終わったら、このテーマについておしゃべりして下さい。実務実習を通して修得させたい能力や、現場の立場からどんな能力を持った人が必要かの観点からの話もOKです。（おしゃべりしながら、模造紙への落書きもお願いします。）